

Liberal & Democratic 自由民主党 蒲郡市議団通信 vol.023



自民党蒲郡市議団は、
経済・教育・福祉の発展のため、

国 今枝宗一郎衆議院
県 飛田常年県議会議員
市 鈴木寿明蒲郡市長
と共に頑張って参ります！

自由民主党蒲郡市支部規約

(入 党) 第18条

3. 定数が1人の選挙に於いて、自由民主党愛知県支部連合会の公認または推薦を受けた者がいるとき、その者を除く当該選挙に立候補した者は、本支部に入党できないものとする。

※自由民主党愛知県支部連合会の公認を受けている飛田常年県議会議員に対して立候補を予定している**喚田孝博氏**は今後、自由民主党蒲郡市支部に**入党出来ない**こととなります。

※自由民主党愛知県支部連合会の公認を受けている飛田常年県議会議員に対して立候補を予定している喚田孝博氏は今後、自由民主党蒲郡市支部に入党出来ないこととなります。

● 自由民主党蒲郡市議団 活動報告 ●

国道23号蒲郡バイパス 建設特別委員会

委員会が開催され、担当課からの説明だけでなく現地視察も行いました。舗装前の道路を実際に走りながら、各IC周辺を中心に確認。令和6年度末の完成に向けての工事推進に期待しています。



商工会議所との勉強会

2月10日に蒲郡商工会議所の小澤会頭をはじめとする役員及び事務局の皆様と、様々な意見交換を行いました。商工会議所の取組や要望事項をお聞きし、議員側からも市政報告を行いました。



愛知県勉強会

飛田常年愛知県議会議員と共に、愛知県を訪問して道路・河川・港湾などのインフラに関する各担当課との勉強会を行い、また蒲郡市内のなかで県管轄となる事業の要望もお伝えをいたしました。



令和5年3月定例会 一般質問

1 青山義明

テーマ
『機構改革、
令和5年度予算大綱』



2 大場康議

テーマ
『蒲郡市水道行政』



3 大須賀 林

テーマ
『一般廃棄物最終処分場の
今後、技術職の確保』



4 鈴木将浩

テーマ
『ホームページ、
地域通貨・地域ポイント、
各種計画策定』



5 大向正義

テーマ
『愛知県事業の執行状況、
道路インフラ事業、国及び
県への要望活動、旧統一協会』



6 藤田裕喜

テーマ
『自殺対策、空き家を
取りまく課題、
市内小中学校の制服』





団 長
あおやま よしあき
青山 義明

皆様のお蔭をもちまして、蒲郡市議会議員を3期12年間務めさせて頂き心から感謝申し上げます。今後もさらに皆様のお声を届けることが出来るように頑張っている所存です。

さて、今季最後の3月定例会一般質問では、令和5年度予算大綱について質問させていただきました。その主な内容については蒲郡市民の命を守る市民病院の安定経営の為今後の看護師と医師数についての見通しを質しました。答えとして医師数は、大学病院との連携を強化し80名程度の確保を目指し看護師は283名体制の見込みであるということです。

私が市議会議員になった当初は医師数が40名を切ったことがあり、そのことを考えますと大きく改善されたと思います。また、毎年約7,000万円もの赤字を出しておった人間ドック事業も市民病院への移行を実現でき黒字化となっております。今後も市民の皆様の安心安全を確かなものとするよう頑張っております。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

一般質問動画



幹事長
おおば やすのり
大場 康議

昨年12月27日、三谷町の水道管破損事故について

漏水被害は、三谷町、豊岡町、平田町の2,600戸におよび事故原因は管の布設年度が昭和38年と老朽化が著しいことと、通行車両が多く長年の車両荷重の蓄積が想定されます。同時期に敷設された管は市内に点在しており、同様の漏水事故の可能性は否定できない。市内の水道管の老朽化率は平成30年で35%と全国平均の2倍であり、管路更新が非常に遅れています。市は南山配水管の更新計画を前倒して令和5年度から工事着手するとしておりますが、それでもビジョン計画では、管路更新予定は年間6kmとされており、市内管路延長が580kmあり計算上100年かかることとなり、老朽化率は年々上昇します。私は水道施設関連事業費の一部を下水道事業と同様にポート会計を通じた一般会計からの繰り入れをすべきと提案しました。

一般質問動画



政調会長
おおすか はやし
大須賀 林

3月議会では一期目の最後となる一般質問をさせていただきました。地元大塚町にある一般廃棄物最終処分場について、いつまで埋立てが続くのか、埋立てが終わった跡地はどうするのか、を聞きました。大塚より前に捨てていた一色最終処分場はすでに平成11年に埋め終っているが、いまだに土中からゴミに起因するガスが出ていて、その後の利用ができていません。幸い大塚では環境調査の結果、ガスもなく水質調査、土壌調査とも十分に安全でした。市の説明によりますとあと6年ほどで埋立が完了の見込みですが、ちょうどそのころには23号バイパス金野インターと大塚鎌倉交差点を結ぶ大塚金野線が県の事業として動いている時期です。この道路に沿っている処分場跡地は交通アクセスも良く、どんな土地利用をしていくのか先を見据えた議論を重ねていく必要があります。

もう一つ蒲郡市がめざすサーキュラリティの推進にかかる提案として、ゴミの焼却灰を単に埋める一択でなく、灰を高温で溶かし少量化にできます。熔融スラグといいますが実用化されていて、路盤材として十分な強度をもった資材となります。循環型社会を目指すためにも市の事業が自ら率先して検討していただきたい。

一般質問動画



総務会長
すずき まさひろ
鈴木 将浩

3月定例会で1期目最後の一般質問を行いました。

テーマとしては「ホームページの改善」「地域通貨・地域ポイントの導入」「各種計画策定」の3点。詳細はQRコードからご覧いただければと思いますが、個人的には各種計画策定は以前から気になっていた点で、最後に取り上げることが出来ました。

何故気になっていたかという点、毎年何本かの計画が計画策定を数百万で委託に出されていること、出来上がった計画にも疑問点があることです。直近5年間で、合計48本・約2.6億円が計画策定費用として支出していて、その多くがコンサル等への委託になっています。

もちろん、作成しなければいけない計画も多く、職員の負担になっている点もありますが、委託費削減・職員の人材育成・市の政策力などの観点からも、外部に任せる委託ではなく、少しずつでも職員自らが作成する割合を増やすべきではないかと思えます。また、直接関係する住民や団体の皆様からも、十分にご意見を頂けるような仕組みも必要だと考えています。

完璧な計画を作れば、市政が素晴らしいものになり、すべて解決するわけではありません。ただ、どうせ作るなら、意味のあるものにして欲しいと思い、計画策定を全般的に見つめ直してほしくて、今回の一般質問では取り上げさせていただきました。

一般質問動画



おむかい まさよし
大向 正義

よびた孝博後援会の折り込みチラシで、「大向正義議員、青山義明議員、大場康議議員を提訴します！」記載され、蒲郡市内に配布されました。

しかし、よびた孝博後援会 会長の代理人から「警告書」はいただきましたが、3月13日現在、提訴されていません。

私は、3月定例会一般質問で、「東三河の旧統一教会を考える市民の会」に所属している旧統一教会元信者が、現状や当時のことを伝えるため、蒲郡市長への面談を要望したら受けるのか、お伺いしました。市は、「ご質問頂いた件に限らず、どのような要件につきましても、面談内容や趣旨、状況等をしっかり把握したうえで、判断させていただきます」との答弁を頂きました。

また、旧統一教会元信者さんは、3月3日午前11時に、愛知県庁で記者会見をして、「私が入会していた当時、よびた孝博さんが豊橋の教会長でした。寄付の問題が発生した時『金が惜しくなったのか』と言われ、今も心に残りトラウマになっています。教会長は、一般信者と違い、組織を統括する人です。」と証言いたしました。今後は、蒲郡市役所においても、記者会見を開催したいと思えます。

4期16年間市議会議員活動をさせて頂きありがとうございました。多くの市民や職員、友人、後援会の方々に支えられ、援けられてまいりました。蒲郡に少しでも恩返しができるよう、新しい人生を歩みたいと思えます。

一般質問動画



ふじた ひろき
藤田 裕喜

みなさんは小中学校の制服について、どうお考えでしょうか？

このたびの議会質問で、私は学校の制服問題を取り上げました。

小中学校の制服については、必要という意見もあれば、不要という意見もあります。また、自由にすればよいという意見もあります。市の教育委員会にも様々な意見が届いているようです。

普段は着る機会も少なく、登下校も体操服のことが多いようです。一方、試験や式典では制服を着る機会があるとのこと。また、教育委員会では業者との相談も進めてきており、制服だけでなく体操服や上履きなど、いろいろなもの見直しが必要という認識とのことです。

今後については、制服等の見直し検討委員会を立ち上げ、方向性を定めていく、児童や保護者からも声を聞き、丁寧に対応する、とのことでした。

私はこの問題は誰の利益を優先するか、という問題だと考えています。

関係者間で合意形成を図ることは重要ですが、それが難しい可能性もあると考えています。

誰かが思い切って決断しなければ、進まないのではないかと、思います。みなさんはどうお考えでしょうか？

一般質問動画

